

# 鳳凰山だより

第1号 令和5年5月8日

## 210名の入学を許可します

令和5年度入学生は、氏名点呼では一人一人大きな声で返事をしていました。そして、校長式辞では「入学おめでとう」と言われると、思わず礼をする新入生がたくさん見受けられました。今年の新入生は目をきらきらさせて清々しく、礼儀正しい生徒たちです。

新入生を代表して小笠原惟千（いち）さんは、「仲間と共に切磋琢磨しながら学業や部活動に全力をあげる」ことを誓いました。

4月6日 入学式



## 新入生、鳳鳴高校最初の行事

4月7日 対面式

応援団を先頭に、緊張しながらも堂々と入場し、コロナ前の伝統的な対面式が行われました。

校長からは、本校の校是「文武両道」について、テニスに例えたお話がありました。スマッシュの本当の威力が発揮できるのはラケットを持つ手だけではなく逆手の働き次第。勉強の力を引き出すには部活動も大切であり、「部活動で勝ちたければ勉強せよ」という力強い激励の言葉をいただきました。



さらに生徒会長の挨拶では「押忍（オス）」の由来と意味について教えてもらいました。

応援団の華麗な演舞に合わせて、2・3年生が応援歌「勝利の翼」を声高らかに歌い上げると、1年生からは自然と拍手がわき起こりました。

## 厳しさを学んだ応援歌練習

4月17日～21日 応援歌練習

応援歌練習では「声が小さい」「最初から」など檄が飛び、高校生活の厳しさを体感しました。最終日は体育館で2・3年生と共に「勝利の翼」を斉唱したあと、団長から「よく頑張りました。応援歌練習で学んだ耐える力を高校生活に活かしてください」とねぎらいの言葉をいただきました。運動部による部歌の紹介もありました。



## 寒い日でも温かい雰囲気で行われた生徒総会 4月26日

生徒会長あいさつに続き議長団が選出され、令和5年度生徒総会が開会しました。

議事についての審議では、2・3年生から活発な意見や質問が出され、白熱した意見の交換があった場面では、議長から意見発表の仕方についての助言が出される一幕もありました。

生徒会役員は一つ一つの質問に丁寧に応答し、最終的には議事で出された4つの議案が全て承認され、始めに議長が宣言したとおり、温かい生徒総会となりました。

